

2021年5月31日

## 当社のDX戦略につきまして

フジトランスポート株式会社

### (1) 当社におけるDX推進の考え方

昨今の我が国においては、デジタル技術の発展・ニューノーマル社会への移行による、産業構造の変化、消費行動の変化が急速に進んでいます。また、AIやIoTなどのITの進化により、調達・生産から小売り・消費者までのサプライチェーン全体がつながることで、どこに、どれくらいのモノがあるのかをリアルタイムで把握できるようになりつつあります。また、物流企業として新型コロナウイルスによる生活様式の大規模な転換に対応しながら、我が国の経済成長と国民生活を支える社会インフラとしての機能を持続的に果たしていくためには、大前提として、安全の確保を図り、さらなる効率化と高付加価値化を図る必要があります。

このような状況下において、日本経済を支える物流企業であり続ける、安全を最優先に業界の模範となる企業であり続ける、従業員や地域社会と共に成長を続ける、というフジグループ企業理念の達成のため、DXを推進することで、企業価値の極大化を図ります。

当社は、長距離幹線輸送を基幹業務としており、今後も物流を通じ日本経済の発展に貢献して参ります。その際、安全な輸送に加え、ITを駆使した情報提供、内部環境の強化を図り、顧客企業のご要望にお応えしてまいります。

### (2) 当社におけるDX戦略

2022年7月の稼働開始を目標として、次期システムを構築中です。次期システムは、現在稼働中の、運行管理システム、安全管理システム、車両管理システム、人事管理システムをシステム基盤から刷新し、大幅なスピードアップ、より効率的な配車、運行管理を実現します。また、安全管理、車両管理、人事管理と統合的なデータ管理を進め、各種業務のシームレスな情報共有を図ります。

さらに、次期運行管理システム、GPSシステムを活用し、顧客企業に対する当社の空車情報の提供、車両位置情報を高度化し、顧客企業と、当社情報の共有を進めます。

### (3) DX 戦略の推進体制

DX 戦略を経営の根幹の一つ捉え、機動的に対応するため、当社経営企画部システム課と、グループ会社であるドコマップジャパンの関連を強化します。

具体例としては、次期システム構築においては、当社管理本部担当取締役とドコマップジャパン社長をそれぞれプロジェクト総責任者とした体制で進めています。

次期システムは、現行のシステムを情報基盤から刷新するものです。2千台以上の大型トラックを保有し長距離幹線輸送のトップブランドを誇る当社グループの物流企業としてのノウハウと、情報システム専門であり外販を行っているドコマップジャパンのノウハウ・最先端の IT 技術を組み合わせ、最先端の時期システムを構築します。

### (4) 当面の DX 推進目標

既述の通り、当面の DX 推進目標としては、次期システムの2022年7月の稼働開始・その後の安定稼働を目標としております。現状、次期システム構築は計画通りに進捗しております。

次期システム安定稼働後も、引き続き固定費の削減や新たな仕組みの構築を進めてまいります。

以上